

西
八四
七

立案 昭和 年 月 日
決裁 昭和 年 月 日

曾位課長

宗秩寮總裁

宮内事務官

通信檢閲官補大塚與吉敍位取消ノ件

昭和三年五月四日裁可
月 日達
官報報告濟
臺帳記入 / 月 / 日

六

宮内省

裏面白紙



通信檢閲官補大塚與吉敘位取消ノ件
右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和二十年五月四日

内閣總理大臣男爵鈴木貫太郎



内

閣

人位第三方〇號

案起

昭和三十年五月四日

決定

昭和

年

月

日

施行

昭和

年

月

日

日

内閣總理大臣

内閣書記官長

内閣書記官

通信檢閲官補大塚與吉敍位取消ノ件今般運輸通信大臣ヨリ別紙ノ通奏請之有今更不都合ニハ候得共事ノ實已ムラ得サル儀ト認メラルルニ付該敍位取消上奏相成然ルヘシ

内閣

裏面白紙

裏面白紙

内閣公署第三方。號

運輸通信省

敍從七位

通信檢閲官補 大塚 與吉

右者昭和二十年五月一日從七位宣下ノ處同人ハ既ニ昭和二十年四月二十六日死亡シタルコト判明是ニ懇懼ノ至ニ存候得共該敍位取消方被仰出度

右謹テ奏ス

昭和二十年五月四日

運輸通信大臣 小日山 直 登



運輸通信省

秘恩第一〇二四號ノ二

昭和二十年五月四日

運輸通信大臣官房秘書課長

内閣官房人事課長 殿

殺位取消ノ件

通信機関官補大塚與吉ニ對シ昭和二十年五月一日從七位宣下ノ處同人ハ四月二十六日病氣ニ罹リ死亡シタルコト判明寔ニ恐懼ニ堪ヘサル次第ニ付テハ該殺位取消相成様御配意相煩度及御願候

追テ本件取扱ニ係ル頭等ノ者ハ福岡中央電話局ニ在勤メシ者ニアラ州地區空襲其ノ他ノ通信事故發生ニ因リ連絡上相當日數ヲ要シ遲延シタルモノニ付右御諒解得度



142
205.14
付受

裏面白紙

裏面白紙

秘恩第一〇二四號

一通信檢閱官補大塚與吉殺位取消ノ件
別紙上奏書及進達候也

昭和二十年五月四日

運輸通信大臣 小日山 直 登



内閣總理大臣 男爵 鈴木 貫太郎 殿

運輸通信省